

2023年10月4日

福岡歯科大学医科歯科総合病院 口腔外科で
口腔扁平上皮乳頭腫の治療を受けた患者さんへ
(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

病理組織を用いた口腔扁平上皮乳頭腫の病態解析

【研究の目的】

病理診断に用いられた病理組織標本を用い、口腔扁平上皮乳頭腫の組織形態の詳しい解析を行い、病変で発現する様々なタンパク発現やウイルス感染状況を調べます。また、臨床所見と合わせて統計解析を行い、口腔扁平上皮乳頭腫の病態や発生原因、病理診断に有用な因子の探索を行います。

【研究の方法】

病理組織検査に用いられた病理組織標本を用い、細胞形態の詳しい所見により、新規の分類を試みます。また、病理組織検査の後の残余組織を使って、細胞内外の様々なタンパク発現所見、ウイルス感染状況を調べます。また、臨床所見

と合わせて統計学的な解析を行い、病理診断に有用な因子の探索を行います。複数施設の症例で得られた結果を統合し、病態や発生原因、病理診断に有用な因子の中から、特に重要な因子を絞り込みます。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

【対象となる患者さん】

2018年1月1日から2020年12月31日までに、福岡歯科大学医科歯科総合病院口腔外科で病理組織検査により口腔扁平上皮乳頭腫と診断された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

用いる試料は病理検査に用いた病理組織標本と残余組織です。一部の診療録の情報（年齢、性別、部位、臨床症状、臨床診断、治療方法、転帰）を用います。これらの情報は本研究に従事する研究者のみが利用し、生体構造学講座病態構造学分野・吉本 尚平が責任を持って管理します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 橋口 照人

新潟大学大学院 牛木辰男

福岡歯科大学 水田祥代

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 分子口腔病理学分野 嶋 香織

新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野 阿部達也

福岡歯科大学 生体構造学講座 病態構造学分野 吉本 尚平

【当院の研究責任者】

(研究機関名) (研究責任者の所属・氏名)

福岡歯科大学 生体構造学講座
病態構造学分野・吉本 尚平

【本研究全体の研究代表者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 分子口腔病理学分野
准教授 嶋 香織

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科分子口腔病理学分野の研究費で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒814-0193

福岡市早良区田村 2-15-1

福岡歯科大学 生体構造学講座病態構造学分野

講師 吉本 尚平

電話 092-801-0411 FAX 092-801-4909